

## 欧州ジャーナリスト・識者招聘プログラム

期 間	2017年10月16日(月)～10月20日(金)	
参 加 者	ジョン・ガッパ	英フィナンシャルタイムズ チーフビジネスコラムニスト、編集委員
	ジャン-ピエール・ロバン	仏フィガロ 経済編集長
	セバスチャン・ジャン	仏国際経済予測研究センター 理事
	フベルトゥス・バート	独ケルン経済研究所 所長・研究部門責任者
	ミリヤ・フィードラー	独ドイチェ・ヴェレ 編集委員
コーディネーター	有田 拓人	経済広報センター国際広報部主任研究員

経済広報センターでは、10月16日から20日にかけて、英独仏の有力メディアのジャーナリストならびに経済専門家を招聘し、企業幹部、政府等関係者、識者、国内有力メディア等と、日欧関係のさらなる発展に向けて懇談するプログラムを実施した。

今回の招聘プログラムに参加したのは、英国からフィナンシャル・タイムズのジョン・ガッパ・チーフビジネスコラムニスト兼編集委員、フランスからはフィガロのジャン-ピエール・ロバン経済編集長と国際経済予測研究センターのセバスチャン・ジャン理事の2名、ドイツからはケルン経済研究所のフベルトゥス・バート所長兼研究部門責任者とドイチェ・ヴェレのミリヤ・フィードラー編集委員の2名の計5名。

一行は、ANA ホールディングス、アサヒグループホールディングス、丸紅、三菱重工業、三菱電機を訪問、経営幹部と欧州における事業戦略などについて意見交換した。加えて、関係省庁幹部や篠原尚之東京大学教授（元財務省財務官）などと懇談。日EU EPAへの期待、日本の経済・社会動向などについて討議した。さらに、出身国の駐日大使とそれぞれ面会するとともに、国内主要メディア記者とのラウンドテーブル、シンポジウム「Brexit、日欧EPAと日欧関係の今後」（10月19日開催）にも参加した。なお、5日間に及ぶ一連の会合の成果は、「コラム～日本は先進国のモデルとなったのか？」（ロバン氏）、「グローバルオピニオン～日欧協調で自由貿易守れ」（バート氏、実哲也日本経済新聞編集委員）などとして、各媒体ですでに発信され始めている。



左からロバン氏、ジャン氏、ガッパ氏、バート氏、フィードラー氏

以上